

## 学校経営ビジョン

### I 【対話】を重視した教育活動の充実

学校は子どもたちが社会の中でよりよく生きていけるようになるために存在し、そのためには、子どもが「自ら考え、判断し、決定し、行動する」資質を身に付けることが大切です。

一方、生徒、教職員、保護者のそれぞれが学校を創っている当事者として、【対話】を通して一つ一つの問題解決に向けた最適解を見出していくことも重要です。

王子桜中では、生徒が【対話】を通して平和や公平性を実現していく社会に貢献できるように【対話】を重視した教育活動の充実を進めていきます。とりわけ「対話を通じた相互理解と合意形成」という視点を重視した授業づくりや学校運営に取り組んでいきます。

#### I 対話を生かした授業づくり・学級づくり

《取組の視点》

- ・生徒一人一人に【問い】をもたせる授業の工夫
- ・「教材との対話」を深める授業の工夫
- ・「他者との対話」(学び合いや教え合い)を取り入れた学習過程の工夫
- ・「自分との対話」(学びの振り返り)を取り入れた学習過程の工夫
- ・お互いの意見や考えのよさや違いを尊重し合う学級づくり
- ・失敗や間違いを認め合える受容的な学級集団の育成
- ・よりよい学級や学年づくりへの貢献と協働

#### II 対話を生かした生活指導・進路指導

《取組の視点》

- ・生徒のつぶやきや心情の変化をきめ細かく見取る校内体制
- ・生徒一人一人の言葉に寄り添い、受け止める教師の姿勢
- ・教職員による生徒への温かい言葉掛けや励まし
- ・生徒一人一人の主体的な参画による学校生活の改善
- ・よりよい学級や学校を創るための生徒同士、生徒と教師の対話の保障  
(学校のきまりの見直し、中央委員会や専門委員会、部長会等の充実)

#### III 対話を生かした学校運営の充実

《取組の視点》

- ・対話と協働を生かした教職員のチームワーク(同僚性)の向上  
(運営委員会や学年会、分掌部会等における合意形成)
- ・保護者や地域の意見を取り入れた学校運営の改善  
(PTA運営委員会、学校評議員会、保護者会、学校評価等)
- ・学校からの積極的な情報発信、学校経営方針の周知と理解  
(学校学年だより、保健給食だより、校長室通信〈教職員向け〉等の活用)

## Ⅱ [王桜愛・地域愛] を育む学校づくり

- 現行の学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を新たな理念として掲げています。社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくことが求められます。
- 王子桜中では「社会に開かれた教育課程」の具現化を図る視点として、
- ① 学校教育のために地域や社会からの支援を享受する視点
  - ② よりよい地域や社会のために学校教育が貢献する視点
- の2つを取り入れることにしました。これは、学校と地域が一方通行の関係に終わらずに、「互恵的なwin&winの関係性」の構築を目指すということです。
- 王子桜中では、これまででもスクールコーディネーターを中心とした保護者ボランティア等による学校支援体制の基盤が構築されています。今後も学校運営の充実や教育活動の質的向上のために、地域の人的・物的資源の積極的な活用を図っていきます。
- 一方、[地域貢献・社会貢献]の視点では学校教育と社会教育との連携・協働により、ボランティア活動や地域行事だけでなく、授業や教育活動の成果と発展的に結び付けていきたいと考えています。

### I 学校教育のために地域社会からの支援を享受する視点

#### 《取組の視点》

- ・ 学校の環境整備（花壇や屋上菜園の整備等）
- ・ 読書活動の充実（学校図書館の装飾やPOPづくり等）
- ・ 授業や学校行事などへの支援（保護者や地域人材、公的機関や民間企業）
- ・ 部活動への支援（部活動指導員、外部指導員等）
- ・ 地域の保育施設や教育施設等との連携（保育園・幼稚園、小学校・高等学校等）
- ・ 職場訪問や職場体験の受け入れ事業所等の斡旋等

### Ⅱ 地域社会のために学校教育が貢献する視点

#### 《取組の視点》

- ・ 地域行事等への生徒や教職員の参画（北区児童館ネットワーク事業等）
- ・ 地域行事の企画運営のための[中学生会議]等への参画
- ・ 地域の環境美化活動やボランティア活動への参加
- ・ エコキャップ等のリサイクル活動への参加
- ・ 北区環境政策課や北区NPO・ボランティアぶらざ、子ども食堂等との連携
- ・ 地域と協働した防災訓練や学校避難所開設訓練への参加
- ・ 地域の児童館や高齢者施設等での中学生のボランティア活動

# 学校経営計画

## 《東京都教育委員会の教育目標》

東京都教育委員会は、子供たちが知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。

## 《北区教育委員会の教育目標》

「教育先進都市・北区」の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とする。地域社会の一員としての自覚のもと、ふるさと北区に誇りをもち、自らの力で人生を切り拓き、広く国際社会に貢献することのできる、心身共に健康で文化的な資質をもつ人間を育成することを目指す。  
(平成22年1月28日北区教育委員会決定)

## 《学校の教育目標》

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

- ・自主 自ら考え正しく判断し行動する人
- ・創造 先人に学び、未来の文化を創る人
- ・飛翔 視野を広く、高き理想を目指す人

## 《学校経営方針》 … 生徒一人一人の深い学びの実現と豊かな心の醸成

### 【育てたい生徒像】

- 夢や目標の実現に向けて、よく学び、粘り強く努力する生徒【自律】
- 仲間と学び合い、助け合い、高め合える生徒【自立】
- よりよい学校づくり、地域づくりを目指し、自ら進んで行動する生徒【地域貢献】

### 【目指す教師像】

- 教育への熱意と使命感をもち、生徒に深い愛情を注ぐ教師【教育愛】
- プロの教師として自己研鑽に励み、常に学び続ける教師【自律】
- [チーム王桜]の一員として、学び合い、助け合い、高め合える教師【自立】

### 【目指す学校像】

- 保護者や地域から信頼され、[王桜愛・地域愛]を育む学校
- 生徒と教職員の笑顔と気持ちのよいあいさつが溢れる学校
- 生徒や保護者との信頼関係を深め、よりよい学校文化を創造する学校

王子桜中学校は、未来の担い手となる子どもたちに**確かな学力と豊かな感性・人間力**を育み、国際人としての自覚や豊かな国際感覚を身に付け、自主・自律を促す豊かな学習環境を整えるために、旧王子中学校と旧桜田中学校を統合し、**北区初の統合新校「王子桜中学校」**として平成17年4月に地域住民の期待や願いを受けて誕生した学校であり、令和6年度は開校20年目を迎える。

上記の【育てたい生徒像】【目指す教師像】【目指す学校像】の実現を図るために、以下に掲げる事項を重点としてすべての教職員が一体となった学校経営を推進する。

## I 中期的目標と方策

学校は、①調和のとれた組織体として教育活動の効果を上げなければならない側面と、②教職員個々の全人格で指導しなければならない側面がある。この2つの側面を踏まえ、極めて変化の激しい社会が学校教育に寄せる期待が大きいことや、本校に対する保護者や地域の願いを真摯に受け止め、これらの期待と信頼に応える学校づくりを積極的に推進する。

中期的目標として「**生徒の深い学びの実現と豊かな心の醸成**」をゴールとして、北区学校ファミリー構想に基づいた幼小中一貫教育を進め、**【自主・創造・飛翔】**を具現化する力を培い、自らの夢の実現に邁進する生徒を育てる。その目標達成のため、以下の方策に取り組む。

### 1 日々の授業の充実と教員の指導力の向上 ―生徒と教師の学びの充実―

- 王子桜中サブファミリー3校1園で、すべての子どもたちにとってわかりやすく学びやすい**【教育のユニバーサルデザイン】**の視点に立った授業や保育づくりを工夫する。またサブファミリーの教員研修の場を通して、授業や保育実践の成果や子どもの変容を明らかにする。
- 【教科指導と生活指導を一体化させた授業づくり】**と共に、**【特別支援教育の視点を生かした授業づくり】**を進め、自己存在感の感受や共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な居場所づくりを基盤として、すべての教科で共通した授業実践を図る。
- 【対話】**を重視した学習過程を工夫（○教材との対話 ○自分との対話 ○他者との対話）し、生徒同士、生徒と教師の学び合いの場を充実する。
- 基礎・基本の確実な定着と学習意欲の向上を図るために、北区学力パワーアップ講師（数学）や学級経営支援員、教職や心理職志望の学生ボランティア等による授業支援を生かし、生徒一人一人のつまずきを丁寧に見取り、個に応じたきめ細やかな学習支援を行う。
- 【朝読書】**を始め学校全体で組織的に取り組む読書活動や**【NIE】**を基盤とした言語活動の充実を図り、これからの時代に求められる読解力や批判的思考力を高めるための授業の工夫や**【NIEタイム】**（週1回）の取組を充実する。
- 学習評価の趣旨を生かした各教科等の年間指導計画・評価計画を見直すと共に、指導と評価の一体化を図り、評価結果の生徒へのフィードバックや教師の授業改善につなげる。
- GIGA スクール構想の具現化を図るため、各教科での一人一台端末**【きたコン】**の効果的な活用を図ると共に、**【きたコン】**を活用した家庭学習の充実を図る。さらにサブファミリーの小学校とも連携し、児童生徒の発達段階に応じた**情報モラル教育**を推進する。
- 生徒会が企画提案して実現した放課後の**【自習室（Study room Osaku）】**の積極的な利用を促進し、生徒の自主的・継続的な学習習慣や読書習慣の形成を図る。

### 2 組織的な生活指導の充実と安全管理の徹底 ―いじめの未然防止と不登校への支援―

- 「いじめは重大な人権侵害である」**という認識に立ち、全教職員による一体的な指導体制の下、**【王子桜中いじめ防止基本方針】**（R6改訂版）を踏まえ、いじめの未然防止と迅速な対応を強化する。また学校のいじめ防止基本方針に関する保護者や地域の理解と周知を図る。
- 礼儀や礼節を大切にする心を養う教育を推進するとともに、いじめや不登校の未然防止を図るために、hyper-QU や生活アンケートの結果を積極的に活用し、**学級経営の充実**を図る。
- 感染症や自然災害等の不測の事態に備え、生徒の安全管理や危機管理のための校内体制や対応マニュアルを整備するとともに、自らの安全や健康に対する意識を高める防災・安全教育の一層の充実を図る。今年度よりすべての避難訓練等を王子小と連携して一体的に行う。
- 【ノーチャイム】**による自律的な学校生活を通して、自ら考え正しく判断し行動する態度を形成する。また、インターネットやSNSの利用については『**SNS 王桜ルール**』を遵守し、**【SNS 家庭ルール】**の作成と活用についても保護者の理解と協力を得る。
- 不登校生徒へのきめ細やかな支援を図るために〈**王桜ルーム**〉の活用を含めた校内支援体制の一層の充実を図る。特に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子どもと家庭の支援員、校内別室指導支援員、北区広域スーパーバイザーとの緊密な連携を図る。
- 生徒会を中心として生徒の積極的な参画による学校生活の改善を図るとともに、校則や制服の見直しなどについても生徒や保護者の意見を反映させながら継続的にこれを実施する。

### 3 道徳教育の充実と豊かな心の醸成 ―よりよい生き方の追究―

- 道徳教育及び人権教育の全体計画に基づき、全教育活動を通して、他者を思いやる心や協調性、人間関係形成力を育み、豊かな人間性と社会性を培う。
- 道徳授業地区公開講座(7月)を始めとする道徳授業の公開の充実に努め、保護者や地域の方との意見交換を深めることにより、家庭・地域と連携した道徳教育の充実に努める。また道徳授業の充実に資する校内研修を計画的に実施する。
- いじめや差別などの喫緊の解決すべき課題について、道徳授業において重点化して取り上げると共に、各教科や学級活動、学校行事と有機的に関連付けて指導する。また学年ローテーション道徳等の指導方法を効果的に工夫して実施する。
- 生徒会や園芸ボランティア部、美化委員会等が中心となった学校全体のボランティア活動を計画的に実践し、ボランティア精神の涵養を図る。さらに中学生の〔地域貢献・地域参画〕に対する意識を高め、ボランティアを基盤とした豊かな学校文化を醸成する。
- 年間を通じた朝読書の実施や各フロアの図書コーナー及び学級文庫の設置、学校図書館の整備・充実など、生徒の豊かな感性や想像力を育むための豊かな読書環境を整備する。
- 年間を通じた計画的な保健指導と食育の推進を通して、心身の健康の保持増進や望ましい食習慣の形成に向けた意識の向上を図る。

### 4 地域と協働した開かれた学校づくりの推進 ―特色ある学校文化の創造―

- 北区海外派遣で訪れるセブンヒルズスクールの生徒との交流やEC那須における留学生との積極的な交流を通して、英語コミュニケーションへの意欲を高め、異文化理解を深める。
- あいさつ運動や地域清掃、リサイクル活動、近隣の児童館との交流等、よりよい学校づくりの参画や地域貢献への意識を高める自主的・自発的な活動を充実させ、生徒が自分たちの手で創り上げる豊かな学校文化を醸成する。
- 様々な状況や場面を想定した実効的な避難訓練や不審者対応訓練を今年度からは小中合同で実施し、生徒の児童危機回避能力を高める。王子桜中サブファミリーの保護者への合同引き渡し訓練(王子小, 東十条小, 王子桜中)を工夫して実施する。
- 区の担当課や消防署、また地域の関係者と連携した防災訓練を計画的に実施すると共に、食物アレルギーや学校事故の未然防止や早期対応を図るマニュアルの見直し及び教員研修を計画的に実施する。
- 文部科学省教育課程特例校として〔海育科〕のカリキュラムを工夫して編成・実施し、社会科学・理科・総合的な学習の時間を中核とした海洋教育を計画的に推進する。
- 保護者、学校評議員、地域の方とのコミュニケーションツールとしての学校評価を学校運営の改善に効果的に活用する。前期(7月)・後期(12月)に分けた評価時期や方法を工夫する。
- 年6回の土曜授業における学校公開を充実させると共に、学校ホームページや王桜中だより、まなびポケット、学校配信メール等を活用して、保護者、地域に向けた効果的かつ積極的な情報発信に努める。
- 学校図書館指導員(週3日)と連携した学校図書館の整備を進め、読書センター及び学校情報センターとしての学校図書館の機能を高める。また、中学生による本の読み聞かせや総合的な学習の時間における〔ビブリオバトル〕を各学年で実施するなど、本校の創意を生かした特色ある読書活動を展開する。また北区立中央図書館が主催する〔ティーンズビブリオバトル〕などへの積極的な参加を働きかける。
- 〔おやじの会〕とPTAボランティアによる体育祭や文化祭のお手伝い、地域の祭礼の見守りやパトロールなどの生徒の健全育成や生活指導の充実など、生徒一人一人を温かく見守る重層的な地域ネットワークの構築を図る。

## II 今年度の重点目標と方策

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善については、授業研究を中核とした教員研修に王子桜中サブファミリーが一体となって取り組んでいく。また、いじめや不登校の未然防止と早期対応については、本校の重要な経営課題と捉え、担任だけで抱え込むことなく、本校の対応方針を明確にし、保護者や地域、専門機関と緊密に連携・協力しながら、迅速な課題解決にあたっていく。さらに、校務改善と学校組織の充実に向けて、会議や打ち合わせの効率化、校務支援システムの活用、校務分掌の見直し、OJTの校内体制の充実に取り組んでいく。最後に、中学生の地域貢献・地域参画を積極的に進めるとともに、生徒会や園芸ボランティア部等を中心としたボランティア活動を本校の学校文化として定着・充実させる取組を充実する。

### 1 特別支援教育の充実 一人に応じたきめ細やかな支援

- 特別な支援や配慮を必要とする生徒への組織的な対応力を向上させるため、意図的・計画的な校内研修やOJTの実施により、教員の指導力の向上を図る。とりわけ発達障害の生徒の特性に関する理解の深化や保護者への対応スキルを身に付ける。
- ◎今年度より新設した校内の〔統括コーディネーター〕を中心とし、各学年の特別支援コーディネーターの職務分担を明確にすることにより〔特別支援校内委員会〕(週1回)を実効的に機能させ、特別な支援や配慮を必要とする生徒の支援策の協議や学級担任等への効果的な助言・支援を継続的に行う。合理的配慮についての理解や認識を深め適切な対応を図る。
- 全校集会や学年集会、保護者会や学校だより、特別支援教育だより(年3回)等の定期的な発行を通じて、本校の特別支援教育の基本方針に関する理解や認識を深めると共に、すべての生徒及び保護者の発達障害に関する適切な理解と啓発を計画的に行っていく。
- ◎スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、児童相談所や子ども家庭支援センター、医療機関等の関係機関と学校との緊密な連携を図り、特別な教育的支援を必要とする生徒への対応を図っていく。
- 〔巡回拠点王子桜〕の円滑な運営及び巡回校との連携強化を図るとともに、拠点内における情報交換や教員研修を計画的に実施することにより、巡回指導の内容の充実を図る。また巡回拠点が主催する保護者対象の進路懇談会等を計画的に実施する。
- 〔自閉症・情緒障害特別支援学級〕(7組)の円滑な運営を図るとともに、在籍生徒の障害特性に応じた指導方法及び指導内容を工夫する。また通常学級における交流授業への円滑な参加と交流クラスでの学校行事等への参加を適切に実施する。
- ◎自閉症・情緒障害特別支援学級、巡回拠点、通常学級の三者の緊密な情報交換と行動連携を促進し、生徒及び保護者の障害理解を深めるための啓発的な指導を計画的に実践する。

### 2 ICTを活用した校務改善の推進と学校運営の充実 「チーム王桜」の確立

- ◎「学校の働き方改革」を実効的に推進するために、以下の視点から校務のあり方を見直し、具体的な改善を図ることにより、質の高いゆとりある教育活動の実現に資する。  
〈教員の業務負担の軽減や改善を図る取組〉
  - ・教員指導事務補助員による校務支援→教員の業務負担の軽減と効率化
  - ・保護者による欠席連絡等のオンライン化→生徒の出欠管理の合理化
  - ・定期考査等の採点処理業務の効率化→〔デジタル採点システム〕の活用
  - ・生活時程の見直し→最終下校時刻の前倒し
  - ・教職員のゆとりある校務の保障→学校閉庁日、定時退勤日、採点日の計画的な運用
  - ・通知表の様式の見直し→1学期担任所見の廃止
  - ・まなびポケットによる保護者配信→情報発信の電子化、宿泊行事等のリアルタイム配信
- 生徒及び保護者等に対しては、保護者会や学校だより、学校ホームページ等による定期的な情報発信等に努める。王子桜中の基本的な考え方について周知と啓発を図る。
- ◎スクールコーディネーターを中核とした組織的な学校支援体制を確立し、  
①学校環境整備、②読書活動支援、③授業支援 の3つの視点から学校支援ボランティアを組織化する。窓口は副校長及び進路指導部が担い、校務分掌上の位置付けを明確化する。

- 運営委員会の機能を充実し、合意形成と意思決定を強化すると共に、職員会議等の回数を削減し会議の効率化を図るため、ペーパーレス会議を定着させる。また、運営委員会の議事録は校務支援システムの掲示板に載せ、全職員の情報の共有化と経営参画意識の向上を図る。
- 保護者とのコミュニケーションツールとしての学校評価の効果的な運用を図り、オンラインを生かした評価方法を工夫して実施する。また評価時期として、7月と12月の年2回実施することにより、年度末の学校評価事務の教員の負担軽減を図ると共に、学校運営上の課題改善の迅速化を図る。
- 〔王子桜中部活動方針〕の適切な運用を図り、部活動の質的充実を図るとともに、生徒や顧問教員の負担軽減を図る。学校ホームページにも掲載し、保護者への周知と啓発を図る。

### 3 いじめ根絶のための校内体制の充実と不登校生徒へのきめ細かな支援

- いじめの早期発見のために、学年を超えて生徒の情報交換を密に行うとともに、生活アンケートや連絡ノート等を活用し、生徒一人一人の変化を迅速にキャッチすると共に、学校生活のあらゆる場を通じた多面的な生徒理解を深め、適時性のある指導や対応に生かす。
- ◎〔王子桜中いじめ防止基本方針〕を改訂すると共に、新たに〔学校いじめ防止年間計画〕(R6)を作成し、本校のいじめ防止のための基本方針や取組を保護者に説明するとともに、とりわけSNSによるいじめの未然防止と早期対応のため保護者に理解と協力を呼びかける。
- 生徒や保護者に対して、生徒会が作成した〔SNS王桜ルール〕(令和元年7月改訂)の周知と理解を引き続き行うとともに、学校だよりや保護者会等による啓発に努める。
- 不登校生徒の対応については、電話連絡や家庭訪問等による保護者との緊密な連絡を継続するとともに、必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを加えたケース会議を開き、実効性のある対応策を組織的に協議する。
- ◎不登校生徒の居場所として昨年9月から立ち上げた〔王桜ルーム〕の人的・物的環境を充実し、別室指導支援員や学生ボランティアによるきめ細かな支援を行う。
- 生徒の深刻な悩みやつらさを周囲の大人が受容的に受け止め適切に支援するため、〔SOSの出し方〕に関する全校生徒対象の講演会を意図的・計画的に推進する。
- 区の教育総合相談センターや適応指導教室、児童相談所などの専門機関とも必要に応じて緊密に連絡を取り合い、外部からの専門的な助言支援を教育指導に生かす。

### 4 中学生による地域参画の推進とボランティア活動の充実

- 職場体験(2年)や職場訪問(1年)、保育体験(3年)、上級学校訪問(1年)などの地域におけるボランティア活動の素地となる啓発的な体験学習を充実する。職場体験受け入れ事業所の確保にあたっては、スクールコーディネーターとの緊密な連携を図る。
- 生徒会や園芸ボランティア部、美化委員会等が中心となって、ゴミ3運動(年2回)、落ち葉掃き清掃、エコキャップや使用済み切手の回収などの本校の特色あるボランティア活動やリサイクル運動を充実させる。
- 科学部や美術部、吹奏楽部等の文化部の生徒が中心となって、王子東児童館やわくわく王子広場との交流活動を定期的に行い、異年齢・異世代の方たちとの交流を深める。
- ◎生徒会が中心となって北区児童館ネットワーク事業への協力を呼びかけ、地域の方と協働して行う〔中学生会議〕の実施により企画運営の段階から地域行事に関わる経験を積ませる。
- 生徒会や園芸ボランティア部が中心となるボランティア活動やリサイクル活動等の環境保全に関わる取組について、文化祭や北区環境展などにおける積極的な成果発表や啓発活動を行い、環境保全に対する意識を高める。
- ◎地域行事や地域の防災訓練への参加など、地域の一員としての意識を高める活動への中学生の積極的な参加を呼びかける。また〔避難所運営ゲーム(HUG)〕に生徒を参加させる。
- 部活動の成果を広く地域の方に公開したり、参観したりしていただく機会を増やすとともに、地域の方と協働して取り組む活動を増やす。